



広報誌1号

本庄児玉病院



contents

- ✦ 広報誌の挨拶・・・P1
- ✦ 認知症ことはじめ・・・P2
- ✦ 納涼祭・・・P3
- ✦ 家族教室・・・P4
- ✦ 病棟紹介・・・P5
- ✦ 新職員紹介・・・P5
- ✦ 外来・入院患者延数・・・P6
- ✦ おすすめレシピ・・・P6

〒367-0212

埼玉県本庄市児玉町児玉 720

TEL.0495-73-1611

Fax.0495-73-1616





医局長

広報誌グループは、本庄児玉病院と地域の皆様との情報の架け橋になればと。その内容は、精神科医療・看護ケア及び精神保健福祉法などのコーナーとして、情報を発信したい。

初刊であり、本庄児玉病院の主な診療となっています認知症をテーマにしました。医局長へお願いし、こころよく引受けていただきました。

【テーマ：認知症ことはじめ】です。御読み下さい。

【テーマ：認知症ことはじめ】

今回はまず、認知症が実際どのような状態を指すのかと、その初期の変化、治療についてごく簡単にお話したいと思います。

認知症というと、言葉の使用の可否をさておけば、「物忘れ」「ボケた」といったものが最も広く持たれているイメージではないかと思えます。現に認知症専門外来の名前は多くが「ものわすれ外来」ですね。実際、物が憶えられない、言葉が出てこない、仕事や金銭管理や家事ができなくなる、といった状態で来院される事はよくあります。

「認知症」についてより正確に言うと、こうした「物を憶える」「言葉が流暢に出る」「金銭管理を行う」事ができるまでに一旦は発達した知的能力が、何らかの原因で持続的に低下してしまっている状態を指します。なので、最初からできなかつたり、一時的な能力の低下であれば、それは認知症ではありません。

最近の報告によれば、認知症において最初に家族が気づく変化として、多い順に以下が挙げられています(1)

- 同じことを何回も言ったり聞いたりする
- 財布を盗まれたという
- だらしくなった
- いつも降りる駅を乗り過ごした
- 夜中に急に起きだして騒いだ
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 計算の間違いが多くなった
- 物の名前が出てこなくなった
- ささいなことで怒りっぽくなった



結構意外な症状ありませんか？もしかしてこうした症状が出てくる方がいたら、認知症の始まりかもしれません。物忘れ外来の受診をおすすめいたします。

現在残念ながら、認知症の根治療法とされる治療法は確立されておらず、如何にその進行を遅らせ、物忘れはありながらも穏やかかつ生き生きと人生を送って頂くか、ということが認知症治療の中心となるテーマです。その為には、認知症の進行を遅らせるお薬を使ったり(薬物療法)、よく話をしたり(精神療法)、充実した活動をその方の生活に取り入れる(作業療法)、といったことがなされます。

それ以外にも、認知症の方が暮らす環境を整えることや、認知症の方を支えるご家族のケアも含めて、総合的に認知症の治療、ということになります。

だからこそ、認知症の治療には様々な職種の人々が関わることになります。

これからの高齢化社会、皆で支えあう事がますます重要になっていくと思われませんが、認知症の治療場面は、その縮図のように思えることがあります。

(1) Mitchell S.Lら 2010年の論文より、平原佐斗司訳



院長 高野 覚



広報誌 巻頭言

医療法人社団明雄会・本庄児玉病院広報誌「さくら」の発刊に際し、僭越ながらひと言ご挨拶を申し上げます。

「さくら」は、当院と地域の皆様とのコミュニケーションの架け橋となることを願って、この度発刊させて頂くこととなりました。

タイトルを「さくら」としましたのは、病院のすぐ傍らには、「こだま千本桜」という素晴らしい名所があり、そうした豊かな自然あふれるこの地域に根差していきたいという思いからです。

当院は、精神科一般外来及び、認知症治療病床120床の病院として、犯罪精神医学者として高名でおられた故作田明先生によって、2009年11月に設立されました。

現在、職員一丸となって、病院の理念にもあります「笑顔と愛の心で、全人医療へ奉仕」すべく日々精進しております。

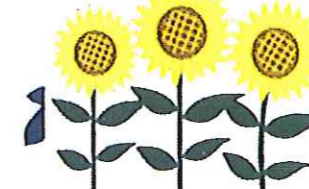
この「全人医療」とは、患者さまの生物学的側面や疾患のみにとらわれず、心理的側面・経済的側面・社会的側面など、様々

な視点から捉えて、一人一人の尊厳と個性を最大限に尊重した医療を目指すものです。

そうした当院での活動の一部でも、本誌にて皆様にご紹介でき、そして当院へのご理解を受け賜いましたら、幸甚に存じます。今後も当院が、この地域で期待される精神科病院としての役割を果たし、皆様に信頼され、社会に貢献できる病院となるよう努力してまいりますので、引き続き当院へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



事務長



理念に掲げた「全人医療」を目指す私たちにとって、患者さま一人一人のあらゆる問題に対し取り組む姿勢を大切にして行きます。そして、各部門の連携を図り、チーム医療を推進して行くことは欠かせません。また、職員の接遇向上に努め、そして「笑顔」心から笑顔が浮かぶその姿が多く見られる医療を提供します。

患者さまやご家族様にとって、安心安全な医療を受けられる病院、地域に根差した病院を目指し職員一同日々研鑽します。

看護師長になったばかりの一年生です。至らないことが多々あるとは思いますが私なりに頑張っておりますので、ご指導宜しくお願いします。



看護師長



看護は、患者さまが望む生活を支援し、あるべき生活へと援助するのが看護です。同時に日常生活の訓練の支援者でもあります。

私たちの心は、「生活者」としての患者さま・ご家族さまに向け、互いにこの地域、この社会に暮らす「人間同士である」という、平等な関係性のうえに置きます。

私たちの活動は、患者様が望まれる「生活の質」QOLの向上」を支援するために、知識と技術を提供することに努力します。その知識と技術が、良い看護チームのなかで展開(発揮)されるならば、患者さまのQOLはより向上するでしょう。だからこそ、私たちが看護の喜びです。

家族教室とは？

病気の回復と病気に関する知識や家族の対応のしかたなどを複数の家族と一緒に学び合う会です。病気や治療のこと、家族の関わりについて一緒に学んでいきましょう。

講義は、医師・看護師・薬剤師・精神保健福祉士・作業療法士・栄養士が担当します。

対象：病名が認知症で当院へ入院、または通院されている患者さまのご家族。

開催日時・内容について

2013年度 家族教室

開催につきましては、ご家族からのアンケートを基に検討したいと思います。決まり次第ご家族へご連絡差し上げます。

家族教室

2013年 8月 21日(水)
PM3時から認知症について
(講師:院長 高野 覚)

認知症看護について
(講師:病棟主任 内田とも子)



納涼祭

納涼祭りは、納涼の季節が到来したことを祝う行事で、別名「川開き」とも呼ばれています。納涼祭りは、花火を盛大にあげます。現代では各地で花火大会が催され、納涼祭り=花火大会といった感が強いのですが、もともとは川開きの行事として発展したものだそうです。



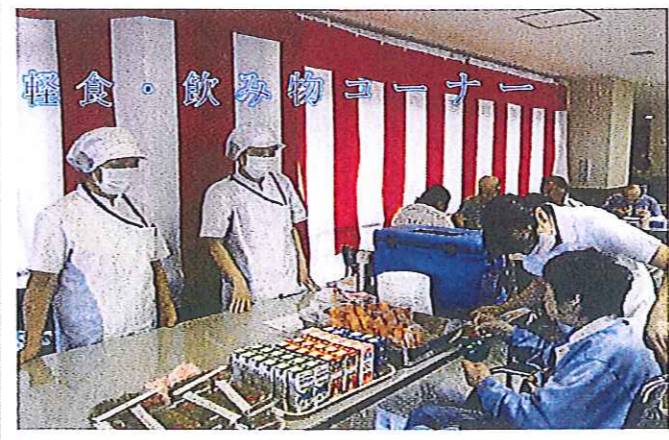
出店コーナー



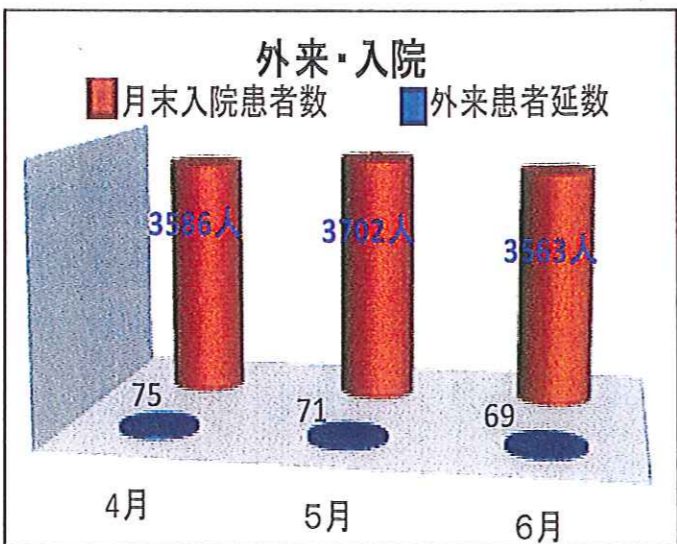
兄一ちゃん
お菓子釣っていい



地域のボランティア参加



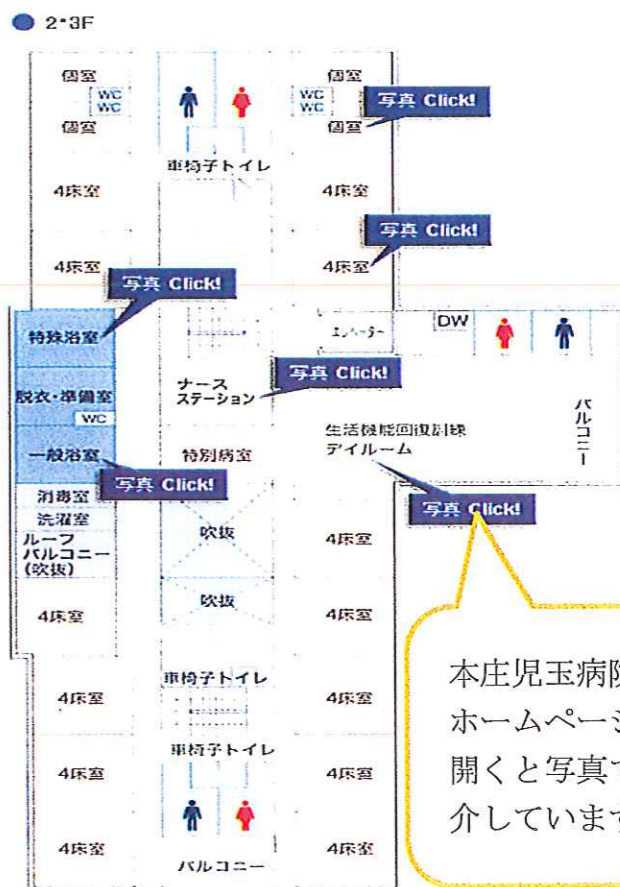
	月	火	水	木	金
午前	高野	新谷	高野	斎藤	斎藤
午後	高野	新谷	高野	斎藤	斎藤



病棟 主任

病棟紹介

認知症治療病棟で(2階病棟60床・3階病棟60床の混合病棟)120床を有し、機能別に2病棟で入院患者さまの生活習慣が崩れることによる認知症状の進行をさけるため、作業療法士、看護師、精神保健福祉士を中心に、生活機能回復訓練を行ない、認知症に伴う行動・症状の軽減に努めています。また、患者さまの喜びや生きがいを共有し、四季に応じてレクリエーションも実施しています。そして、認知症に伴う行動や症状を温かく見守り、老人に発生しやすい二次的合併症や事故の防止など安全管理に努め、患者様を寝たきりにさせないことを心がけています。



本庄児玉病院のホームページを開くと写真で紹介しています。

夏バテ 食欲増進に、おすすめレシピ



夏の盛りに、暑さのために食欲が減退したり(自律神経に起因する)、冷たい水分の摂りすぎで体調をくずしてしまったり、内臓の機能が低下してしまう(クーラーなどで身体を冷やし過ぎて)などの症状の総称。夏バテ。暑気中り(しょきあたり)、暑さ負け、夏負けと呼ばれることもあります。今回は、おすすめサバ煮込みレシピを紹介いたします。



管理栄養士 相澤 彩子

- サバのカレー煮
- 材料 (2人分)
- 生サバ…2切れ
 - 塩・こしょう…少々
 - 小麦粉…少々
 - 油…少々
 - ピーマン…1個
 - ぶなしめじ…1/2株
 - 水…1/2カップ
 - しょうゆ…小さじ1
 - 市販カレールウ…10g
 - こねぎ…少々



- 作り方
- ① サバに塩・こしょうで下味をつける。
 - ② サバの水気を拭き、小麦粉をまぶす。
 - ③ 熱したフライパンに油をひき、サバの両面を焼く。
 - ④ ピーマンとぶなしめじを入れ、Aを入れてフタをし、中火で10分位煮る。
 - ⑤ 皿に盛り付け、こねぎを散らす。

新職員紹介

【栄養課】
 新山ルリ子
 今年の6月5日からお世話になってます。よろしくお願ひします。
 石黒光子
 私はいつも明るく、ポジティブで、赤ちゃんならからお年寄りまで大好き人間です。これからも素晴らしい先輩の方の元で一生懸命頑張ります。宜しくお願ひ致します。

【作業療法室】
 大島恭平(作業療法士)
 5月に入職しました。趣味はカメラと旅行です。入院されている患者さまが楽しく訓練が出来る様に他職種と連携しプログラムを考え日々努力します。どうぞよろしくお願ひ致します。

【看護課】
 斎藤寛剛(助手)
 4月から入職致しました。どのような業務でも手を抜く事なく頑張りたいと思います。

春山直美(准看護師)
 6月から2階で勤務しています春山です。元気が取柄！よろしくお願ひします。

丸川夏代(准看護師)
 4月より、2F病棟で働いています。ご指導宜しくお願ひします。

浦野千津子(看護師)
 6月から2階病棟でお世話になってます。よろしくお願ひします。

竹沢千恵美(助手)
 明るく元気に頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

宮下幸子(助手)
 初めての経験なので一生懸命頑張ります。

黒澤千鶴子(看護師)
 精神科病棟に勤務するのは初めてですが、一生懸命頑張ります。宜しくお願ひします。

理念

患者さまの権利と尊厳を尊重し、笑顔と愛の心で
全人医療へ奉仕します

基本方針

1. 私達は、地域に密着した精神科医療の提供と的確な認知症のケアを実践します。
2. 私達は、患者さまの意思と人権を尊重し、心の通った、愛の心で医療を提供します。
3. 私達は、患者さま並びにご家族の信頼を得、満足度の向上に努めます。
4. 常に医療技術の研鑽と知識の習得に努め、安全で良質な医療を提供します。
5. 私達は、理念達成のため、健全経営の維持向上に励みます。

患者さまの権利

当院では、患者さまと信頼関係で結ばれた「患者さま中心の医療」を行うことを目指しています。ここに「患者さまの権利と責任」を掲げ、これを尊重致します。

- ・安全で適切な医療を公平に受ける権利があります。
- ・人権とプライバシーに配慮される権利を有します。
- ・検査、治療、その他の医療行為に同意し、選択あるいは拒否することができます。拒否した場合においても不利益を生ずることなく、同様な治療を受けることができます。
- ・医療の情報を知り、セカンドオピニオンを受ける権利があります。
- ・精神保健福祉法等の法律に基づいた適切な手続きが保障される権利があります。

患者さまは、以上のもと、治療上のルールを守り、医療を受ける権利があります。

一診療科目一

精神科 平日 AM 9:00~12:00
PM 2:00~ 5:00
TEL 0495-73-1611
FAX 0495-73-1616

一診療時間一
休診日 土曜日午後・日曜日・祝日・祭日
(土曜日午前)

入院随時 各種保険取扱い
完全予約制となっております。



編集発行

2013年8月

医療法人(社団)明雄会 本庄児玉病院

広報誌グループ

〒367-0212 埼玉県本庄市児玉町児玉 720

Tel. 0495-73-1611 fax. 0495-73-1616

編集後記

南の島から埼玉県に来て、早1年半となりました。この度、広報紙グループに参加でき嬉しく思います。今回、広報紙初刊であり、私たちグループが目指すことは病院から地域への皆様に広報紙を発信し、情報を提供が出来ることです。そのために広報紙グループ一同努力します。